

事務事業名	母子健康教育相談指導事業		担当	健康福祉部　こども家庭課　母子健康係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	施策名	1	子育て支援の充実
成果指標	名称		単位	6　年度実績	
	マタニティセミナー参加者数		組	91	
	子育て支援事業参加者数		人	2821	
	思春期教室実施した中学校の割合（9校）		%	100	
事業概要	【母子健康教育・子育て支援事業】 夫婦で子育てする意識を高めるためにマタニティセミナーを開催する。 乳幼児をもつ親が、安心して子育てができるよう、子育て支援事業を開催する。（赤ちゃん教室、離乳食教室、子育て相談会、歯みがき教室等） 【発達支援】 発達に課題のある児やその保護者、子育てや子供の成長に不安のある保護者に対して、よりきめ細やかな育児支援を行う。（4歳児発達相談、遊びの教室、心理発達相談） 【思春期教室】 思春期の生徒が、生命誕生の過程を学び、命の尊厳について理解できるようにするために、思春期教室を開催する。 【子育てモバイルサイト】 子育ての情報を包括的に提供するためのモバイルサイト「わくわく子育てナビ　もおか子育て応援サイト」を開設している。				
6　年度 実績・成果・課題	【事業参加者】 マタニティセミナー：8回、91組（181人） 赤ちゃん教室：12回、136組（297人） 離乳食教室：12回、115組（218人） 子育て相談会：12回、489組（978人） のびのび発達相談：535人 あそびの教室：12回、118組（236人） 心理発達相談：12回、62組（124人） 各事業の申し込みについて、オンライン申請フォームの運用を拡大した 【思春期教室】 9校、557人 【子育てモバイルサイト】（R7.3月末登録者） 6,749人（子：3,725人、親：3,024人）・令和7年度4月から子育てモバイルサイトのアプリ化開始に向けての準備を進めた				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・各事業が市民のニーズに即してより充実した内容になるように検討していく。また、電子母子手帳の導入に向け情報収集をすすめ、導入に向けて検討していく。 ・5歳児健診について国の動向や県内の実施状況を確認しながら、のびのび発達相談の実施体制の見直しをし、5歳児健診の実施に向けて検討していく。				